

すべての飲料を「脱ペットボトル」へ ～環境保全を目指して、ペットボトル飲料の提供を廃止～

2022年4月より、館内のケータリングにおけるペットボトル飲料の提供を全廃^{※1}しました。今後は、全ての飲料をリサイクル率の高い缶やビン等でご提供することにより、「脱ペットボトル」を実現します。

この取組みは、2020年10月にオープンした館内のカフェ「NIWA café」のテイクアウト飲料をビンや紙容器などにすることから始まり、2021年1月に館内自動販売機13台のペットボトルを缶またはビンへ切り替え、2022年4月に「えらべる」ケータリングサービス^{※2}のホテル各社にもご協力いただき、全面的にペットボトル飲料の取扱いを廃止することにしました。

国立京都国際会館は、「地球温暖化防止京都会議（COP3）」など環境をテーマとする国際会議が数多く開催されてきた会場として、今後もお客様のご理解とご協力をいただきながら、脱プラスチックをはじめとした環境保全に向けた取組みを推進してまいります。

<脱ペットボトル取組の例>



※1 主催者様や来場者様のお持ち込みの飲料などは含みません。

※2 ニューホールまたはイベントホールをご利用いただくお客様が、「ICC Kyoto ケータリングサービス」（国立京都国際会館食堂）をはじめ、MICEの経験豊富な京都を代表するホテル（4社）からケータリングを選ぶことができるサービス。